

# 市長室：対話の記録

## 要旨

## 開催内容の公開

### 対話の内容

市長のあいさつ(はじまり)

内容

市長のあいさつ(終わり)

第19回目となる今回は、市内の東光、東光南、東豊中央、東部東光、千代田地区にお住まいの方をはじめとする市民の皆さんと懇談しました。

41の方が参加し、地域特有の課題や、市政やまちづくりに対する意見など、活発な意見交換が行なわれました。



日時	平成19年11月8日(木) 午後6時30分～午後8時05分
場所	旭川市東部住民センター 大集会室(旭川市東光5条2丁目)
出席者	・西川市長 ・市民(41人)

## 対話の内容

※参加者はアルファベット(A～F)で表しています。

同じアルファベットの表記は同一人であることを示しています。

### 市長あいさつ

みなさんこんばんは。日ごろから大変市民のみなさまにはお世話になっております。あらためまして西川でございます。今日は東光地域のみなさま方を中心にお声をかけさせていただきました。東光以外の方もいらっしゃるかと思います、それは全くかまいませんので、いろいろと意見交換して、ご意見をお聞かせいただけたらと思いますのでよろしく願いいたします。8時位までの約1時間半で限られた時間ではありますが、ぜひ多くの方々から市政への思いをお聞かせいただけたらと思いますので、ご協力いただきたいと思っております。

あらためて申し上げるまでもございませんが、東光地域はすぐ隣の豊岡も含めて、今、住宅街が大変郊外に伸びており、非常に市内においても元気のある、活気のある地域ではないかなと思っております。また環状線が走っておりまして、いろいろな公の施設などもいくつかあるといった地域であります。この地域での大きな事業という部分で申し上げますと、今、東神楽との境の川のちょうど手前で、防災センターを建設をしており、来年10月頃に完成する予定で工事を進めているところでありまして、また軟式の野球場がすでに1面出来上がっておりますが、東光スポーツ公園という大規模な運動公園の工事を今

行っているところでございます。パークゴルフ場ですとか、その他いろいろな施設が出来る予定となっております。この計画につきまして、時期ですとか、中身の施設等について今一度事業計画の見直し等の作業を今やっている最中でございます。市民の地域の皆さま方からも、そういったお声をいただきながら、ぜひ愛されるような地域になればいいなという思いでございますので、もしよろしければそのご意見なんかもいただければ、ありがたいなという思いでもございます。

また、何か月前に皆さま方にご迷惑と大変ご心配をおかけした部分で、ガソリンスタンドの土壌と地下水の汚染ということがありました。今でもそのスタンドは営業はしていないという状況であります。そちらの部分も私もいろいろと土壌なり地下水なりの改善ということで取り組んでおりますし、以後こういったことがないように、市内業者の皆さんにも指導を徹底していかなければならないのかなという思いでございます。汚染された部分についてでございますが、地下水に関してはまだ若干今後も経過を見ていかなければいけないという状況になっているということでございます。その他にもいろいろ地域の課題等もあるかと思っております。



これまでいろいろな団体、地域のみなさんと対話集会をさせていただいた中で、皆さんからいただいた意見等につきまして、すでに行政の中で反映させていただいているもの、また今まさに検討している最中のものですとか、また将来的な課題として持たせていただいているものなど、いくつもございまして、そういった意味では、私もそうですが市役所としてこういった機会は、市民のみなさんの生の声を聴かせていただけるという部分で、すばらしい機会だと思っております。すでに市政に反映されたものとしては、8月からごみ袋が有料となりましたが、ちょうど障害者の団体のみなさんとの話し合いの中で、指定ごみ袋を障害者のみなさんの作業所や授産施設などで販売してほしいというご意見がありまして、庁内で協議をして、作業所や授産施設などでの販売を開始させていただいたりですとか、また、市営住宅に高齢者や身体障害者の方ですとかが優先的に入居できるようにしてほしいといったご意見につきましては、市営住宅の1、2階部分、その後新たに125戸という枠を確保させていただいたりですとか、また今検討している最中であるものとしたしましては、多分皆さま方も関心があるのかなと思うのですが、河川敷のパークゴルフ場の質をもう少し良くしてもらえないでしょうかというご意見に対して、今、部内で様々な検討をさせていただいて、来年度再来年度以降にひとつひとつ、一気には無理ですが、その辺りを整備をしていくということを、地域のみなさんに愛されるようなパークゴルフ場という部分での作業をやっている最中でございます。その他にもいろいろとございますが、今後の課題としていろいろと取り組んでいきたいと思っております。

旭川市の全般的な部分についてですが、ひとつはやはり経済、また雇用という部分で引き続き厳しい状況が続いているということがありますが、そのような中で、先日NTTさんがコールセンターを開設していただくということになり、新たに百数十名の新規雇用を実現していただけたということで、新聞にも載っていました。そのことだけではないのしょうけれども、有効求人倍率が0.34ポイントくらい今上がっているということでありますが、いずれにしても全国平均、特に東海地方、名古屋などに比べると、北海道全体では厳しい状況にあるのかなという認識を持っておりまして、何とか雇用をつくっていくということは、例えば企業誘致を含めて、また地域の基幹産業、農業、食品、ものづくり、製造業ですね、こういった産業を今後しっかりと育てていく政策ということは大変重要ではないかなと思っております。そういう取組をこれからも進めていきたいと思っております。あと、旭川市におきましても、これから高齢社会、という部分で、お年寄りのみなさん、退職された後、どのように健康を維持していただけるかという部分での様々な課題なんかも、あるのではないかなと思っております。またそのような中で子どもの数も今、どんどん少なくなってきているんですけども、子育て支援という部分で例えば、保育所の待機児童がたくさんいたりですとか、共稼ぎの家庭が非常に今増えているものですから、留守家庭児童会の拡充

をもっと進めていかなければいけないですとか、そういったことにも取り組まなければならないのかなと思っております。

今、動物園が非常に人気がありまして、今年も今のところ、昨年以上の来園者があるようでございます。観光という部分では今非常に好調な時期にあり、ホテルですとかお土産、物産屋さんは大変今潤っているという現状でございます。また連動して旭川空港の乗降客数も伸びているという状況が続いております。4月からは新規航空会社が参入していただけるというがほぼ決定しまして、片道の航空運賃が東京まで多分1万円程度、往復で2万円くらい安くなるものですから、今まで千歳空港に降りていた、また乗っていたお客さんが、旭川空港を利用するようになり、そういった方が来年度以降増えてくるのではないかなと思っておりますので、観光は観光でこれからもしっかりと地域のみなさんと一緒に取り組んでいきたいと思っております。

また、いろいろな地域のみなさんとの話でやはりごみの有料化に伴ってのお話がたくさんありまして、その中で町内会の加入率がどんどん減ってきていて、地域社会の連携が薄まってきている、また特にその中で町内会に入っていない人たちに、例えばごみの出し方ですとかを伝えたり、きちんと地域の活動に貢献、力添えをいただくという部分で、何かいい方策はないでしょうかというような市民のみなさまからのご意見をいただいております。こちらの東光地域においても、町内会やごみの問題については似たような課題を抱えているのではないかなというような思いでもおります。その他にもいろいろとごまますけれども、今ちょうど10月9日から神楽の市民交流センターが、昔の営林署、北海道森林管理局の跡地で利用開始させていただいたりですとか、また今、市長を含めて特別職の給料、市議会議員の報酬の額が妥当なのだろうかということで特別職報酬等審議会を開催させていただいております。しばらくぶりの見直しでありますので、その答申に基づいて市民のみなさまに納得していただけるような、時勢に合った報酬に変えていこうという取組をさせていただいたりですとか、またちょうど市役所の中で機構改革という取組をやっております。また窓口の総合化ですとか、相談窓口の充実、窓口の一元化ということで来年の春以降、100%までには辿り着けないかもしれませんが、極力、利便性の向上ということを念頭においてやっていきたいということで検討している最中でございます。また、私の公約でもあるのですが、法令遵守という部分での条例について議会審議をいただいている最中でございますが、市民のみなさんに対して公正で公平な行政運営をしていくという上で、何とか議会でも理解をいただいて、この条例を1日でも早く可決していきたいなということで今庁内で取り組んでいる最中でもございます。

冒頭にあたりまして若干、今の市役所の中での動きですとかをお話しさせていただきましたが、今日はぜひみなさま方からいろいろなご意見をいただければと思いますので、限られた時間ですが、よろしく願います。今日は本当にお忙しいところ集まらせていただきましてありがとうございます。

#### 参加者A

少子高齢化で、私の近所も高齢者ばかりで、また少子化で学校の教室が40%も空き教室となっていると聞いています。その空き教室を高齢者が集う場として使ってはどうでしょうか。豊岡の3条3丁目に豊岡交番がありますが、万引きの検挙数が全道一だそうです。老人クラブなどに入らず、パークゴルフにも行かないという老人が多いと聞きます。お金がなくて万引きをしているのではなく、刺激を求めているというようなことらしいです。そこで空き教室を地域の住民や高齢者に開放して、行政と共に活動できる場にしてはどうかと思えます。

朝、ウォーキングをしている人が非常に多いのですが、これから北海道は冬に入り、道路状態も悪くなり、ウォーキングをするのが難しい季節になります。冬期間だけでもいいので、学校の体育館をウォーキングに使えるようにしてはどうでしょうか。

最近、児童が下校途中にいろいろな犯罪に巻き込まれているという状況がありますが、学校の施設を先ほど述べたことに使うことによって防犯にもなるのではないかと思います。例えば下校時に住民と一緒に帰るとか、またお年寄り子どもたちとのコミュニケーション

ヨンの場にもなります。

町内会未加入者が非常に多いです。北海道内で市民委員会という組織があるのは旭川市だけです。町内会が活発にならないと市民委員会もだめになってしまうので、ぜひ行政からも町内会加入促進について取り組んでほしいと思います。

### 市長

夕方6時以降、市内の学校は学校開放事業ということで、教育委員会で受け付けをしております。小学生は3時から4時頃には学校が終わるので、それから6時までの間も様々なスポーツ団体に活用していただいておりますが、やはり利用したくても利用できないという人もいるのかなと思います。子どもたちと接するという点については、昼間ですよ。昼間となれば学校は授業をしていたり、体育の授業で体育館を使っていたりですとかで難しい部分があるのかもしれないですが、もしかしたら工夫できる部分があるかもしれません。今、土曜日は学校は休みですが、文部科学省の方針でまた土曜日にも学校があるようになるかもしれないですけども、本当は土曜日に地域のお年寄りや子どもたちが学校と一緒に活動したり、遊んだり、昔の話を聞かせてもらったりですとか、そういうかたちで活動できたらいいのになど個人的には以前から思っていました。なかなか教育委員会の方針、国の方針、また教職員組合の関係などで、その辺りはいろいろな障壁が生じたりしているのかなと感じております。また、日中に不特定多数の人が学校に入るというのは、よい人だったらいいのですが、中には悪い人もいて、それが事故につながりかねないという危惧も学校側にはあるのかなとは思いますが、ご意見としていろいろな部分で検討、今後の課題とさせていただきたいと思います。

町内会の加入率がすごく悪くなっており、今65%でしたかね。ここ10数年で、10%以上減っており、よい時には70%後半くらいまで加入率があったのですが、加入率の低下は、やはり地域社会、人間関係が昔に比べて希薄になってきていることが影響しているのかなと思っています。私たちが旭川市に転入された方には、町内会の案内のしおりを渡したりですとか、また広報誌で町内会の活動を紹介しているのですが、町内会の加入は任意であり、強制はできないものですから、どうしても限界があり、今、すごく悩んでいるところでもあります。ただ、いろいろな部分で、市と市民のみなさんとの協働ということで町内会また市民委員会単位でしていることもたくさんあるものですから、何とでも加入率を上げていくために、今後も知恵を絞っていきたくて思っております。恐らく町内会の加入率の低下の原因の一つに、昔は葬式などは町内で行ってましたよね。それが今は葬儀会社で行うことが多いので、町内の方々のお手伝いがなくてもできるようになったというの、もしかしたらあるのかなと思います。このようにいろいろな部分で希薄化が進んで加入率が低下しているのかなと思います。私どもも一生懸命、加入率の向上ということで今後とも取り組んでいきたいと思っています。

### 参加者B

十数年前、市の都市計画審議会委員、景観審議会委員をさせていただきました。本当はどちらも留任させていただきたかったのですが、再任はできないということを担当の方から言われ、長期にわたる計画の結果やその経緯を査察することができず、中途半端な状態で終わってしまいました。

嵐山の田園都市計画ですが、これは民間で計画された土地10区画の田畑に億単位のお金をかけ、住宅開発計画に係わる審議を都市計画審議会で行いましたが、ここはまだ一戸しか建っておりません。都市計画審議会では、学校、病院、スーパーなどのいろいろな周辺の状況など、様々なことを審議しましたが、都市計画審議会委員の中には議員が5人、一般の市民と学識経験者は7人ほどおりました。その中で反対したのは議員1人と私1人でした。10年経過してもたった一戸のためだけに市は水道、電気の工事を行い、除排雪もしております。こういう無駄なことがあってもいいのでしょうか。10年経過して一戸しかないところに莫大な予算を投じてきたわけですが、このようなところにお金をかけるのだったら、福祉など他に使うところがあったのではないのでしょうか。その経過観察のた

めにも委員の再任を申し出たのですが無理でしたので、市の条例を調べたところ、再任は妨げないということになっておりました。それでもだめだと言われたのです。また都市計画と景観は非常に関連があることだと思ひ、これらを兼任させてもらいたかったのですが無理でした。これも条例上は妨げはしないということでしたが、担当の方からだめだと言われました。なぜ兼任も再任もだめなのか、もっと市民にわかりやすくしてほしいと思ひます。

東光スポーツ公園についても私は反対しました。あのような大きなものに莫大な予算をかけるより、各地域に忠和のスポーツ公園くらいの規模のものをつくった方がもっと有効利用できるのではないかと思います。東光スポーツ公園はバス停からも非常に遠く、利便性がよくないと思ひます。まち中や各地域に1つあった方が、もっと気楽に利用できるのではないのでしょうか。

北彩都について非常に進捗状況は遅々としておりますが、見事な景観を呈しつつあると思ひて、毎年見学させていただいております。国、道、市の予算が非常に厳しい中、科学館、障害者福祉センター、合同庁舎などいろいろとできており、本当に将来的に楽しみな場所だと思ひております。また、つい数日前、レンガの建物が「市民活動交流センター」となる前段階としての調査が入りました。来年からは交流センターとしての機能が発揮できるようになるのではないかなと思ひて楽しみにしています。

私は市のボランティアを10以上やっております。一番短いので3年間、長いので20数年間ボランティアをしております。各公共施設などでボランティアに頼っているのが非常にたくさんあります。そこでの市の職員の対応についてですが、徐々に良くなってきている中、ボランティアに仕事をさせてやっているんだという態度の職員がいます。私たちは、本来、ボランティアというのは職員の業務を補うという意識があるのですが、全く逆です。ですから私が意見を言うと「あの人はずるさから出てもらわなくていい」と言う職員がいます。職員の意識改革というのは非常に大きな問題ではないかなと思ひます。親子サロン、クリスタルホールでもボランティアをしておりますが、そこでの職員の態度は本当に腰が低く、よい方もいる反面、非常に態度が悪い職員もいます。ですからその辺はやはり統一した同僚のようなお気持ちで接していただけるようになっていただければ、我々ボランティアも気持ちよく過ごせるようになるのではないかなと思ひます。

観光ボランティアを例にあげますと、バーサー大会や冬まつりのボランティアの参加者がどんどん減っております。数年前に担当の部課長にこのことを申し上げましたところ、市の職員も日曜祭日に出てきてくれるようになりました。しかしこの2つの行事に参加する観光ボランティアが非常に減り、ごく一部のボランティアの負担が非常に大きい状況になりつつあります。

科学館ですが、非常に大きな経費がかかっていると思ひます。ボランティアはこまめに電気を消したり、印刷物の裏をメモ用紙に使う、イベントで使えるように小さな紙やダンボールを捨てないようにしております。ところが市の職員は、毎月いろいろなものを印刷して、配布して余ったものを束にして1,000枚、2,000枚と捨てておりますし、また外部に委託して作成しているパンフレット類はすごく高額な紙を使っております。大きな赤字を抱えている市ですから、このような細かいところから切り詰めていかないと、これは大変なことになるのではないかなと思ひます。

ボランティアが市の各部局にわたりたくさんありますので、一度全部取りまとめて、実態を調べていただきたいと思ひます。

## 市長

いろいろな問題提起がございました。

田園住宅は今現在一戸しかありませんので、私どもも何とかみなさんに家を建てていただだけませんかといろいろと呼びかけてはおりますが、なかなか建てていただける方が少ないという現状ですので、今後とも努力していかなければいけないと思ひております。

当時、江丹別地区にごみ処分場を建設する時に、地域の人たちとの話し合いの中で、その代わりとして地域の振興策をつくるということで、あそこに宅地造成をすることになっ

たとは聞いておりますが、1日も早く空気が埋まるように努力していきたいと思っております。

北彩都のレンガ倉庫も、今後実施設計に入っていきますので、ぜひ多くの方に愛されるような施設となるよう頑張っていきたいと思っております。

またボランティアですが、職員の対応に温度差があるということですが、この部分も私どもが把握できる範囲では改善していきたいと思っております。今、市ではボランティアの組織についてどの程度把握しているのですかね。

#### 生活交流課長

ボランティアの団体として三百数十団体くらい、NPOは60団体くらいあると思っております。それぞれまちづくり、福祉、音楽など非常に幅広いかたちで活動しております。平成21年の秋に市民活動交流センターがオープン予定ですが、ぜひ市民活動団体の方たちの交流、情報を得る場、発信する場として使っていただきたいということで、これからも積極的にPRしていきたいと思っております。

#### 市長

市が関係しているボランティアの団体のみなさんに対して、今後、職員のそのような対応等がないように私どもも努力していきたいと思っておりますが、今後また何かありましたら具体的に言ってください。

#### 参加者C

今年の2月27日の新聞に「身内に甘い市役所改革」という記事がありましたが、私もそのように感じています。建築指導課の姿勢についてです。私の隣の住人も市職員で、19年間私の宅地に屋根から雪を落とし続けています。その度に建築指導課に行き、旭川市建築指導の第12条に、隣地境界線のことが明確に記載されております。このことを部長をはじめ課長、係長にまで話をしたのですが、一向に耳を傾けていただけません。例えば、この建築確認時の図面を見せてほしいと言ったところ、「そのような古いものはない」と言いました。何か書類があるだろうと毎年言っても何も出してくれません。今年の5月22日、市議選後にある議員が持ってきてくれました。私はその書類を持って建築指導課に行き、「私が言っていた書類は今でもあるではないか。何故、十数年前から私は頼んでいるのに、隠すようなことをしているのか」と言うところ「この書類ならあった」と逃げの発言をしました。そういう姿勢です。ぜひ建築指導課の姿勢を直し、私のような市民を救ってください。私は市の力を少しも借りずに、法的手段に訴え、隣人の屋根の勾配を変えさせました。私のような人がたくさんおります。身内に甘いという新聞記事については本当に同感でした。ぜひ調べてお返事をください。

#### 市長

私もその話は今初めて聞いたので調べてみたいと思っております。また身内に甘いということについてはそういうことがないようにしっかりと指導してまいりたいと思っております。

#### 参加者D

教育委員会の組織の件ですが、教育委員の方が5人おり、その内の1人が教育長となるというかたちになっていますが、これは少しおかしいのではないかなと思っておりました。教育委員会というのは市とは別の独自の組織であるのですが、教育委員の中の1人の方が実行する組織の長、教育委員会事務局の長となっているということは、教育委員5人の中での自由かつつな論議ができないのではないかなと思っております。どうしても組織の長になりますと、組織のことも考えなければならないと思うんですね。教育委員の中に実行する側の者がいると、他の委員は自由な発言が出来づらくなってくると思っております。このような仕組みはおかしいのではないのでしょうか。これは先ほどの学校開放の件についても、実際に実行する側とは別に5人の方が議論してくれれば、下の組織に対して実行してくれと言えるのではないかなと思っております。



職員からの提案、提言についてですが、学校の現業職員で非常に頑張っている知り合いがいます。今市内にボイラーがある学校が13校あり、燃料高でかなりのお金がかかっていると思いますが、その現業職員はかなり勉強し、何年も統計をとり、ボイラーの焚き方だとか、いろいろな節約方法を考えて実行しています。その結果、同じ規模の学校と比べてかなり節約できたようです。そのことを職員提案として提出したらしいのですが、多分、途中で誰かがこれは市長まで上げなくてもいいと判断して、市長まで行かずに止まってしまったのではないのでしょうか。そこで今度は組合の方に提案したところ、組合ではある程度取り入れてくれて、少しずつ広まってきているということでした。市の予算からいけば、微々たる金額とは思いますが、ぜひ小さい金額でも節約できる方法を広めていけるようなシステムをとっていただければと思います。

学校用務員ですが、聞くところによると、何かを修繕しなければならないといった場合は、大抵業者に外注してしまうらしいです。私の知り合いは極力自分で修繕しようとしています。そうすると例えば1万円かかるものが、部品代100円で済んでしまう場合もあるということらしいです。用務員は掃除や木を切ったりするだけでなく、修繕する能力をこれから持つべきではないかと思えます。それによって、学校の予算を少しずつでも節約していくこともできると思えますので、そういう人選、採用基準をもうけるべきではないかと思えます。また、その用務員では修繕できなくても、他の用務員が修繕できる場合にはその用務員を呼んで修繕してもらうなどのシステムもよいと思えます。

粗大ごみの回収日の変更となったそうですが、先日、自転車を回収してもらったために電話をしたのですが、以前は粗大ごみの回収は全部一律で水曜日の回収だったと思うのですが、それぞれ変わって、自転車は確か月曜日が変わったということでした。回収日の変更を市民に伝えたのですか、と尋ねたところ、それはやっていないということでした。市民へのお知らせについては検討しますとのことで、今のところは知らせる予定はありませんということでしたが、それはおかしいと思えます。最低限のことではないでしょうか。その私の話が上の方に伝わっているのか、もし伝わっているのであればどのような対処を取られるのかということをお聞きしたいと思います。

### 市長

教育委員の件は教育長の話ですね。私は内部的なしこりはなく、すごくまくまわっているなと思っております。委員が何か意見があればそれはきちんと発言していると思えます。またこの教育委員制度というのは国の制度で、条例は国の法律に基づいて制定しており、自治体でこれを変えるというのは難しいと思えますが、もし何か風通しが悪いということがあれば、個別にまた言っていただければと思います。

現業職員の件ですが、ボイラーについてどのような提案をされたのか、私もわからないのですが、正式なルートで上げてもらえれば私のところへは必ずくるようになっておりますので、再度その方に上げてもらえれば、私も確認します。私も内容を把握しないと話がわからないものですから、よろしく願いいたします。

用務員のお話しですが、私どもも全用務員に対し、基本的にはできることは自分たちでやってもらうということをお願いしております。また多分、用務員同士で得手不得手な分野があると思えますので、そこはお互いに連絡を取り合って修繕したりしているとは聞いておりますので、システムというほどではないですが臨機応変に対応していると思えます。しかし、その用務員が何か不都合を感じているのであれば、いろいろと現場でも話を進めなければならないとは思えます。

### 環境対策課長

自転車を粗大ごみとして回収してほしいという話を清掃事業所の職員にしたと思えますが、私も粗大ごみの回収日というのは水曜日、清掃事業所が戸別に回収していると思っております。月曜日が回収日になっているということは、私も承知していなかったのですが、まずは曜日が変わったかどうか確認をとってみたいとは思えます。曜日の変更があったとすれば市民の方に周知しなければなりませんので、それについては清掃事業所

とそういう話の経緯について確認の上、後日ご連絡差し上げたいと思います。

#### 参加者E

乗り捨てられた自転車の回収も粗大ごみの回収も曜日が決まっているのですか。私の家の近所に自転車が1か月間くらい投げ捨ててありましたので、清掃事業所に電話をしたところ、2、3日待ってくださいということで、その時には回収日する曜日については何も言われませんでした。連絡したらいつか取りにきてくれるものだと思っておりました。私が粗大ごみを出しているわけではなくて、誰かが乗り捨てていったものなのに、いつもこちらの方から事業所に電話をして取りにきてもらっているんですよ。電話代がかかっているわけですね。ですから回収日が水曜日と決まっているのであれば、きちんと町内に知らせてくれなければ、私たちも分かりません。決まっているのであれば広報誌にでも載せるべきだと思います。

#### 環境対策課長

乗り捨て自転車については、盗難車の場合もありますので、盗難番号があれば警察と連携して所有者を捜すということもあるのですが、それがない自転車が長期間放置されると、ごみが増えて困りますので、ある程度の期間をおいて、誰が所有者かわからない場合には清掃事業所が普通の投棄されたごみと同様に回収していることはあります。粗大ごみの場合は、料金をいただいて回収しておりますので、それとは扱いが違うということをご理解ください。

また、制度等の変更があれば当然市民の方にはお知らせしなければならない義務がありますので、広報誌や新聞でお知らせするなどをしなければならないと思っております。今の粗大ごみの回収日についてのご提言につきましては、確認の上お答えしたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

#### 参加者F

私は昔から飛行機が好きで、旭川空港を主体とした航空関係のホームページを開設しています。旭川空港は旭山動物園効果でここ数年乗降客数が伸びてきているのですが、空港側にそれを受け入れる機能がまるでないと思います。旭川空港は全国でも有数の美しい景色を持っていますので、それを写真に撮りたいと全国から友人が来ようとするのですが、飛行機の座席の予約が取れないという状況です。旭川の航空会社の方に、機材を大きいものにできないのかと聞いたところ、滑走路で曲がれないなどで空港側が拒否するという話でした。どうしてもっと受け入れられるように整備しないのでしょうか。

また、乗降するためのスポットの数が少ないと思います。先日も友人がスポットの前で空くまで20分くらい待たされていました。せっかく観光客が多数来ているので、もっともっと受け入れられる施設をつくらないといけないと思います。

#### 市長

私も前職がパイロットでしたので、飛行機や空港が大好きなのですが、6月から9月くらいまでの間は座席をとることができない状況です。私たちも出張に行く時になかなか座席がとれません。航空会社にも、機材の大型化や便数を増やしてほしいと前市長の時からずっと要望してきております。来年の4月からスカイマークエアラインズさんが1日3便、東京・旭川間を飛ばしてくます。150人乗りくらいの飛行機で3便ですから1日500人くらいは増やしていただけるので、あと半年くらいですが辛抱してくればなと思います。

それと飛行機が曲がれないというお話ですが、私はそれはないと思います。「トリプルセブン」であればもしかしたら曲がれないかもしれないですけども、私はジャンボに乗っていたのですが、「747」は何回も来ており曲がれています。トリプルの方が旋回半径が大きいので曲がれないかもしれませんね。先日、日本航空、全日空やエア・ドゥの社長とも話したのですが、これからは大型機というよりも、中型機で便数を増やしていくという方向に変えていくということのようです。ですから特に国内線はこれからはトリプルというより



も「767」クラスですとか、そういった250人乗りくらいの機材が主流になっていくのかなと思います。

スポットについてですが、確かに少ないです。旭川空港も新しくなってまだ何年かしか経っていないのですが、近いうちにターミナルの増設や、スポット、ボーリングブリッジを増設するということは早急な課題として認識しなければいけないと思っております。

#### 参加者B

旭川空港の件ですが、レストランなど飲食関係を、競争相手がおらず1社が独占していますよね。他社と競合することによってサービスの向上ということもあると思いますし、また地産地消ということでもいろいろと取り組まれている方もおりますので、そのような他の業界の方も参入させるということを空港施設の拡充時に絡めていただけないでしょうか。

#### 市長

空港の飲食店がどういう契約の形態になっているのかわからないのですが、ちょっと調べてみまして、今後改善できる部分があればやっていきたいと思っております。

#### 生活交流部長

多分、旭川空港ビル(株)の方で契約しているのかなとは思いますが、それについて詳しいことはわかりません。

#### 参加者D

旭山動物園の来園者数は確かに多いですが、その経済効果が現れていないのではないかなと思います。ホテルなどでは宿泊数は増加していますが、市の方では税収は伸びていないということですし、旭川にお金が落ちていないのではないかなと思います。

#### 市長

旭山動物園の経済効果は、今後もっと伸ばしていく努力はしていかなければならないと思っております。現時点では、例えば観光産業などの一部の業界に留まってしまっているんですよ。18年度ですが観光産業面での市内における経済効果の調査を行いました。観光客の入込数が約700万人で、その経済効果が年間800億円という数字が出ております。動物園の入園者が300万人ですから、単純に考えると動物園では300数十億円、それ以外は動物園以外の経済効果という大まかな数字は捉えております。ただこの800億円を1千億円、2千億円としていくことは必要だと思っております。国で言う国民総生産、旭川市でいうと市民総生産ですが1兆数千億円なんですね。それに比べれば本当に何%なんですね。なかなか目に見えていないということではありますが、いろいろな業種のみなさんにも、この旭山動物園人気を利用して仕事につなげていただきたいと思っておりますので、できることは今後ともお手伝いさせていただきたいと思っております。

#### 参加者F

夕張市が財政再建団体となり、その借金が市民1人当たり約120万円と言われております。旭川市における累積赤字額は市民1人当たりになるとどれくらいになるのでしょうか。また、これからそれを返済していく道筋はあるのでしょうか。市長に就任してからどれくらい返済できたのでしょうか。

企業誘致についてですが、私は企業誘致も大切だとは思いますが、旭川市の場合はそれ以上に企業が外に流れ出て行ってしまうのではないのでしょうか。その数字は押さえていらっしゃるのでしょうか。

農業は旭川市の基幹産業です。特に水田ですが、再生産をするためにはやはり一俵60kgあたり、1万5千円で買ってもらうなければ再生産ができないということです。今、一俵あたりいくら分かりますか。今、農業では生活できないので、当然、後継者がいないということになります。農業は基幹産業ですのでしっかりと立て直していかなければいけ

ないと思いますので、行政が何らかの支援をしていただきたいと思います。具体的な支援策を聞かせてほしいと思います。

### 市長

今、旭川市の借金が一般会計で約2千億円、特別会計と合わせると約3千億円です。これを1人当たりになると、一般会計で約60万円、特別会計も入れると約90万円です。この1年間でどれだけ返済したのかというと、私が市長になってから1回、予算編成をしたのですが、130億円の借金をして190億円返しましたので、60億円減ったということですね。しかし、3千億円のうちの60億円ですから、全て返済するには何十年もかかりますが、私はこの全額を返すという認識ではおりません。企業と同じように借金と返済の額のバランスを保つというか、均衡していくようにしなければならないのかなと思います。ただ、財政的に厳しい状況の中ですから、極力借金を返していくということと、少なくともこれ以上借金を増やさないという大きな柱は今後とも続けたいと思っております。

企業の流出と流入についてですが、旭川市の人口が減ってきている中で企業の数も減ってきているということですから、流出、また倒産ということもあるでしょうし、総体的に雇用が減ってきているという部分では、マイナスの方が多いのかなという認識を持っており、これを逆にしていくという努力をしていかなければならないとは当然思っております。

農業の問題ですが、市でも農業者のみなさんに様々な助成をさせていただいております。国の制度が今年から大きく変わり、国が認定している面積以上でなければ、国からの補助金を受けられないということになりました。それにより旭川市では国の補助を受けられなくなった農家が約7割あります。3割の方は国の基準を満たしているという状況です。耕地面積にするとその3割の方が7割の農地を所有しており、残りの7割の方が3割の農地を持っているということですから、農業においても大規模化と小規模という二極化が非常に進んできております。

市では国の補助対象からはずれた人たちに補助するということをしておりますが、生活を楽にするくらい十分な額ではありません。また、例えば土地の売買のあっせん・仲介など、大規模事業化、集団営農化に向けての取組を本格的にさせていただいており、その3割の方を今後4割、5割に上げていくということと、農地の集積についても国の基準に合う農地を7割から8割、9割に上げていくということで取り組んでいる最中であります。

また、旭川産の農作物が少しでも高く売れるようにいろいろと知恵を絞っているのですが、まずは旭川ブランドというのをつくりたいと思っており、ちょうど旭山動物園の人気がありますので、来年の4月から旭川産の野菜には動物園の動物の顔が付いたラベルを貼って売り出そうと青果連(青果物出荷組合連合会)の皆さんと話を進めております。来年から地元産のものは全て動物園の動物の顔がついた野菜にして、それで何とかブランド化につなげていきたいと思っております。また、本州方面にどれだけPRしていくかということも今後とも取り組んでいきたいと思っております。

また、もうすでに行っているのですが、地元のスーパーに地元産の農作物を扱っていただきたいということで、今年からホクレンショップさんの豊岡店で旭川産品の特設コーナーを設けていただきまして、そこで販促をお願いしております。来年度以降、ホクレンショップさんの全店舗への拡大ですとか、生協さんとかふじスーパーさんとか他のスーパーにも特設コーナーをつくってもらおうということで、お願いをしている最中であります。何とか地元で買ってもらえるような取組をしていきたいと思っております。

今後、少しずつですけれども、農家のみなさんに後継者をつくってもらいやすいような体制にしていきたいと思っております。ただ、そう簡単なことではないとは当然認識しておりますので、また今後ともご指導いただければと思っております。

### 参加者F

以前は食糧事務所というところがあって、国の検査官が米の等級などを決めていました。ところが今は農協の職員が検査して等級を決めてしまうんですね。一律な検査がされていけばいいのですが、検査官も3人いれば3人もみな見方が違い、検査官によって等

級が異なるようなことが実際に起きています。このことだけ言っておきます。

### 市長終わりのあいさつ

まだ発言されなかった方もいらっしまったのかなと思いますが、時間の関係で申し訳ございません。また何かございましたら個別にでも結構ですので、秘書課でも広聴広報課でも結構ですので、気軽にご意見をいただければと思います。

また、市に対してのいろいろなお叱りなどもありましたが、より市民のみなさんとの信頼関係を構築できるように、今後とも最大限努力をしていきたいという思いでおりますし、私もその先頭に立って頑張っていきたいと思っておりますので、何とぞお許しいただければと思っております。

今日、いただいた宿題に関しましては、調べさせていただいた後に、間違いのないお答えをしなければなりませんので、後ほどご連絡先をおっしゃっていただければと思います。市の財政状況も厳しい中、行財政改革に取り組んでおりまして、職員数の削減、様々な手当の削減など、そういったこともこれからやっていくという段階にきております。そのような中でやはり市民と行政と共にまちづくりを行っていくという「協働」が非常に大切になってきます。そういった中で、ボランティアの方々の役割が、旭川市だけでなく全国の自治体で問われてくるのかなと思っております。幸い旭川市には多くのボランティアの団体がありますので、そういったみなさんとの信頼関係をつくりながら、協働のまちづくりという取組をやっていきたいという思いでございます。またいろいろとみなさん方からもお力添えやご指導などもいただくことができたかなと思います。

今日は大変貴重なかったつなご意見をいただきましてありがとうございました。また明日以降私どもも、まちづくり、旭川市民のみなさんのために全力でまい進してまいりますので、今後ともよろしく願います。今日はどうもありがとうございました。